

都留市行政改革推進委員会からの答申（令和2年度「事業評価・提案会」
に係る対象事業について）を踏まえた改善・今後の方向性

事業名	体育スポーツ奨励事業		
課名	生涯学習課	担当名	スポーツ振興担当
<p>改善策・ 今後の方向性</p>	<p>① 市民等がワクワクするような話題性・持続性を持った特色ある大会を目指し、都留市のふるさと時代祭りと並ぶ一大イベントとして定着させる。</p> <p>② 県内外の多くのランナーに参加をいただき、大会の目的の一つである「地域活性化・経済効果」を一層推進していくため、大会の認知度を高める取組を積極的に進めていく。</p> <p>③ 「自治会」、「市内小中学校・高校・大学」、「各種団体」等と連携し、多くの方々の参加・協力により、一丸となって大会を盛り上げていくような「市民参加型のハーフマラソン大会」を目指す。</p>		
<p>具体的内容</p>	<p>①特色・話題性をもった大会とするための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都留市の特色である豊かな自然を満喫でき、リニアに加え、富士山の見える景観、平成の名水百選「湧水の里」の名所等を盛り込んだ「魅力あるコース設定」を進めていく。 ●マラソンの競技性だけでなく、話題性のある取り組みを加え、本市の急こう配のコース設定の特色を踏まえた「激坂スプリット」、沿道の応援者も楽しめる「仮装ランナー」、コース上に地元名産が試食できる「エイドコーナー」等のユニークな企画を盛り込んでいく。 ●多くの方に参加をしてもらうための工夫として、これまでの部門（種目）に加え、カップルコースなど、新たな種目の導入を進めていく。 ●リピーター確保のため、「（仮称）連続参加者特別賞」を創設する。 <p>②認知度を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マラソンコースや都留市の紹介等を踏まえた「大会PR動画」を作成し、県内外のランナーに多様な方法により情報発信をしていく。 <p>③市民参加型の各種団体との連携した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元住民の「おもてなし」によりランナーを応援するため、自治会・学生・各種団体等と連携し、多様な応援方法による「沿道応援プロジェクト」を企画する。 ●これまで以上に参加者（ランナー・ランナー家族等）に楽しんでもらうため、市内飲食店組合等と連携し、大会当日に「道の駅つる」において、地域食材のふるまい・屋台・フリーマーケット等を実施する。 ●都留市への移住者と連携し、大会当日に、市外ランナーの参加者に対して、移住者自らがPR活動を行う「移住PRブース」等を設置する。 		